事例No.	875
公表年度	R1
団体の属性	一般市
団体名	秋田県北秋田市

事例区分	一般行政

タグ	・教育・子育て ・地域運営組織

事例種類	自治体間連携

事例内容・タイトル

自治体間連携等による森林整備

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

自治体間連携

秋田県　北秋田市（自治体間連携等による森林整備）

わがまちの税活用方針

- 本市は秋田県北部中央に位置し、総面積115,276haのうち83%を森林が占める古くから山（山林）の恩恵を受けてきた地域である。また、40,016haの民有林のうちスギの人工林が59%を占め、伐採、利活用、再造林という資源循環を開始するに適した森林資源状況にある。
- 森林環境譲与税を活用した取り組みの一つとして、本市と友好交流都市である東京都国立市との間で、都市と山村が連携した森林整備事業を実施する。

〇森林・林業の役割や木材利用に対する理解と関心を高めることを目的に、国立市を主とする都市の子どもと、地元北秋田市の子どもが共同で森林整備活動（植林）を行う。

〇「都市と山村の友好の森」事業PR用の大型木製看板を製作し事業のＰＲを図る。

主な取組・概要

【事　業　名】：都市と山村の友好の森事業
【事　業　費】：2,366千円（全額譲与税）
【実施時期】：令和元年７月～令和元年９月
【事業内容】
①植林地整備　（外周測量、地拵え、位置杭設置）
②作業道開設　L＝300m
③植林指導・補助（大館北秋田森林組合）
④植林活動　　0.2ha
　　スギのコンテナ苗600本（3,000本/ha）
　実施場所　　北秋田市市有林内
　参　加　者　　北秋田市内の小学生
　　東京都国立市の小学校生及び保護者等
　　秋田県リフレッシュ学園短期留学生
⑤看板製作・設置
「都市と山村の友好の森」事業PR用の大型木製看板を製作し植林地に設置。
※来年度以降は植林活動と前年度植林箇所の下刈り作業を実施予定。

事業スキーム



工夫・留意している点、特徴等

・植林地の選定にあたっては、小学校低学年が植林を行うため、傾斜が緩やかで、かつ事業をPRできる箇所として、秋田自動車道と隣接した市有林を選定した。
・秋田自動車道から見える箇所に地元産材を活用した大型看板を設置し、事業のPRを行っている。